

2002年3月6日

株式夜間取引異常値取引についての処理 証券会社で自主ルール策定 4月より施行

株式夜間取引のマーケットメーカー1社と取扱オンライン証券会社3社は、我が国で初めて異常売買に関する共通規定(以下「異常売買に関する規定」といいます。)を策定しました。これにより、万が一システム障害等の理由により異常値での取引が発生した場合においても株式夜間取引の価格の公正性を確保し、投資家保護を図ることが期待されます。

一般に、欧米の証券取引においては、異常値での取引が発生した際の公正中立な事後処理を担保するために、異常売買に関するルールが整備されております。しかしながら、我が国においてはマーケットメイク制度が主流となっていなかったこともあり、これまで異常売買に関するルールは確立されていませんでした。このため無限のリスクを負うことを嫌って、多くの証券会社がマーケットメーカー業務を敬遠する一因となっています。また、実際に異常売買が発生した都度混乱を招く結果となっていました。

今回の異常売買に関する規定は、それらの経緯を踏まえ、我が国にも欧米同水準の異常売買に関する規定が必要であるとの合意に達した証券会社によって策定されたものです。

今回の異常売買に関する規定の特徴は以下の3点です。

- 異常値による取引が発生した際のマーケットメーカーによる取消しを、株式夜間取引において定められた制限値幅を超え(主市場終値から上下30%、店頭銘柄については上下7%乖離)、かつ通知期限以内に取扱オンライン証券会社に連絡した場合に制限しました。
 - 通知期限:当該売買発生の日営業日の午前9時まで
 - ◇ 通知期限はマーケットメーカーと取扱オンライン証券会社間の連絡期限を意味します。
 - ◇ 個人投資家への連絡は、午前9時以降になる場合もあります。
- 異常値の発生を減らし、万一発生した場合の予見性を高める措置を証券会社の義務または努力規定として決めました。
- 国内法上の有効性を確実なものとするため投資家から、事前の包括同意を得ることとしました。

異常売買に関する規定の概要

- 名称:ムーン・トレードの異常売買に関する規定(別紙参照)
- 合意参加社名:
(株式夜間取引 マーケットメーカー)
ゴールドマン・サックス証券会社東京支店

(取扱証券会社)
イー・トレード証券株式会社
ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社
松井証券株式会社
- 告知開始:平成 14 年 3 月 6 日
- 実施日:平成 14 年 4 月 15 日

株式夜間取引(ムーン・トレード)の概要

- 夜間オンライン証券会社を通じてリアルタイムでの株式の売買を提供
- 17:00 - 23:50(取扱証券会社によって異なる場合があります)
- 発行銘柄:現在約 200 銘柄
- 取引価格:マーケットメーカーが売値・買値を決定する
- 取引決済:取引日から起算して 5 営業日目

(以下各社紹介)

イー・トレード証券は、イー・トレード株式会社の 100%出資のオンライン総合証券として、1999 年 10 月(コールセンターは 1999 年 4 月オープン)よりサービスを提供しております。業界最低水準の手数料を誇るだけでなく、日本で始めてインターネットによる新規公開株式のブックビルディングの募集を行ったことでも知られています。イー・トレードグループは、「顧客中心主義」のもと、個人投資家の皆様にとっての利便性・経済性を可能な限り追求し、今後とも投資家の皆様が求めるサービス・商品、そして低価格の手数料の提供に挑戦し続けてまいります。

ゴールドマン・サックス証券会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社。1974 年に東京駐在員事務所開設、1986 年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となる。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の

企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

DLJ ディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFBdirect Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、三井住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。

松井証券は大正7年創業。80年以上の歴史を持つ老舗の証券会社です。

しかし、その経営理念は、旧来の「証券会社中心のマーケット」を打ち破り「お客様中心のマーケット」を創り出す、という革新的なものです。

店舗・営業マンを完全廃止した日本初の本格的インターネット取引「ネットストック」の導入。まったく新しい手数料体系「ボックスレート」の導入。金融機関としての責任を果たすべく導入した「アカウント・プロテクション」等...

長い歴史に裏打ちされたノウハウと革新的な経営理念を融合させることで、旧来の常識を打ち破り、新たな常識を一つ一つ創造してきました。

そして、これからも松井証券はイノベーターとして、「お客様中心のマーケット」を創造するため、革新的な提案をしていきます。